

第23回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA オンラインアジア大会(動画審査) 総評 ショパニストS部門

●審査員 A

ショパンの音楽に対する大きな愛情が演奏を聞いてよく伝わってきました。更に良い演奏をするための要素として、楽譜への忠実さ、リズムの正確さ、明確なペダリング、自然な語り口などが挙げられます。

強弱やテンポ記号、フレージングのスラー、アーティキュレーションや表現内容に関する事など詳しく記載されているので、注意深く楽譜を勉強することをお勧めします。これらの要素が誇張されることなく調和することで、正しい音楽の形が構築できるのです。

●審査員 B

第23回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会へ進出された皆さん、おめでとうございます。ショパン愛好家の皆さんが、ショパンの音楽への愛を観客と分かち合おうとしているのを見るのは、とてもうれしいことです。また、演奏に向かう姿勢も好感が持てました。レパートリーは多様で、よく選曲されていました。今後のアドバイスとして、技術や演奏の側面からだけでなく、和声、形式、多声部構造などを分析し、全般的な音楽言語をより理解するよう努めましょう。ソナタ、バラード、ポロネーズ、マズルカ、スケルツォ、ノクターン、ワルツなど、ショパンの形式にはそれぞれ固有のイディオムがあるので、それについて調べ、いろいろな奏法に取り組むとよいでしょう。

これからも、沢山の喜びと充実感を感じピアノを弾いてください。そして、次回のショパン国際ピアノコンクール in ASIA でも、ぜひ演奏を聴かせてください。

●審査員 C

本当におめでとうございます。皆さんの演奏から、ショパンの音楽に対する真の愛と献身的に取り組まれている姿勢が伝わり、大変嬉しく思いました。皆さんの情熱と、入念に準備するプロフェッショナルな姿勢に感心しています。その姿勢と演奏は、世界中の優秀なピアノ学習者の良いお手本になるでしょう。音楽に触れ、ピアノを弾き、素敵な時間をたくさん作ってください。

●審査員 D

「作品に対する共感が聴き手に伝わる演奏」がとても多かったと感じています。参加者の皆様それぞれがご自身の演奏の録画を客観的に聴くことにより、新しい発見があったのではないかと思います。是非それを今後の演奏に活かし、新たな表現の可能性を追求し、その成果をまた聴かせていただければとても嬉しいです。

●審査員 E

ショパニスト A 部門、S 部門 どちらも素晴らしい演奏ばかりでした。ご自分の演奏に自信を持ち、楽しんでお弾きになっていらっしゃるのが印象的でした。

●審査員 F

コンクールと言う場面で、しかも撮り直し可能なオンライン大会ともなると正確さをより求めたくなるのでは、と感じながら聴かせていただきました。機材を通してちょっとしたタッチの変化や呼吸から生まれるもの、色彩、etc.とシニア部門なら深い感情が欲しいと思います。伝えたい（作品の内容とご自分の想い）ことを潔く音にしてみてください。皆様それぞれ実力のある方でした。